

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 平成 30 年度

施設所管課： 鎮西市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市桃山天下市	所在地	唐津市鎮西町名護屋 1 8 5 9 番地
設置目的	地域における農業・水産業の振興及び歴史・文化を素材とした観光の開発・普及の中核となる施設として、市内地場製品の消費拡大及び地域経済の活性化に寄与するため。		
開館日	1 月 1 日、1 月 2 日及び毎月第 3 月曜日を除く日	開館時間	午前 8 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分

2 施設の利用状況

説 明	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	利用状況の傾向と増減の要因
レジ通過人数	220,020 人	204,623 人	197,889 人	192,991 人	①佐賀維新博で佐賀市への観光客は多かったが、その影響により利用人数が減少した。②雨天が多く観光客数の減少により、利用人数が減少した。
	人	人	人	人	
	人	人	人	人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社桃山天下市			
	所在地	佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1 8 5 9 番地			
	代表者	代表取締役社長 坂口 栄一			
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		(1) 施設等の利用の許可に関する業務 (2) 桃山天下市施設の及び設備の維持管理に関する業務			
事業の実施状況		毎月の定休日は返上し、利用者の利便性の向上に寄与した。 施設等の利用許可に関しては、施設内のテナントに対して、前年度に引き続き許可を行った。 施設等の維持管理に関しては、業務の委託及び修繕の実施などを行っている。 自主事業等については、物産館の運営とともに、定期的イベント実施や道の駅としての管理運営を行った。			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳		
	6 人	3 人	支配人、販売主任、事務職員		

4 収支状況

単位：円

	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	増減額
収 入 (a)+(b)+(c)+(d)	76,766,532	79,325,831	-2,559,299
指定管理料 (a)			
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	6,554,683	6,778,700	-224,017
事業収入 (c)	62,720,882	65,659,044	-2,938,162
自主事業収入	62,720,882	65,659,044	-2,938,162
—			
—			
—			
その他収入 (d)	7,490,967	6,888,087	602,880
支 出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	78,955,499	81,644,646	-2,689,147
人件費 (e)	18,889,874	18,830,611	59,263
施設管理費 (f)	13,230,734	15,175,189	-1,944,455
光熱水費	8,053,518	9,033,608	-980,090
修繕費	129,419	247,946	-118,527
広告宣伝費	400,032	895,196	-495,164
委託料（再委託）	3,319,815	3,127,737	192,078
保険料	165,915	184,960	-19,045
事務費	160,249	289,539	-129,290
その他	1,001,786	1,396,203	-394,417
事業費 (g)	44,411,788	46,057,488	-1,645,700
うち自主事業に伴う 経費	44,411,788	46,057,488	-1,645,700
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)	2,423,103	1,581,358	841,745
収支	-2,188,967	-2,318,815	129,848
利益配分額	0	0	

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
評価の視点			
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	B	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	B	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	B	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	B	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	B	B
④施設の 利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	B	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	B	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	B	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	B	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	B	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	B	経費削減などで収支改善の努力をととても感じる。老朽化している施設ではあるが、大きな損傷も出すことなく、現状に適切に対応しながら運営している。
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	